



笑顔いっぱい 夢いっぱい

郡山市立安積第三小学校
学校だより No.23
令和7年 6月23日
文責：校長 酒井 健

◇「ヒヤリ !! ハッと !!」したこと、ありませんか？

最近、暑くなってきたこと、校庭で遊ぶ子どもたちが aumentando いることなどが要因でしょうか。保健室を利用する子どもが増えています。校庭で転倒して擦りむいたり、打撲したり・・・どの子も軽傷ではありますが、中には、「ヒヤリ、ハッと」する事例もあります。「ハインリッヒの法則」という法則があります。それは、
「1 : 29 : 300」という比で表されます。

これは、「1件の重大な事故」の裏には、「29件の軽微な事故」があり、その裏には「300ものヒヤリ・ハッとすること」があるというものです。このような事故を回避するためには、「まわりの確認をしっかりと行うこと」「自分の行動を予想・予見できるようにすること」「安全確認、注意を怠らないこと」が重要であります。

これからも、子どもたちが安全に安心して生活できるよう、学校内外での事故防止について指導してまいります。ご家庭での言葉かけもよろしくお願いいたします。

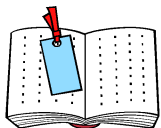


本を読む生徒、高い読解力

学校とご家庭とで一緒に考えていきましょう！

文部科学省は、子どもたちの読解力の低下について、「根拠を示して考えを述べる力」に課題があると指摘しています。また、「情報の真偽を見極める力」などについても特に低いという点を挙げています。下の表は、「読む」「読まない」生徒の読解力平均点です。

本などをよく読む生徒と、そうでない生徒の読解力平均点
《「よく読む」は月数回以上読むとした生徒》



	読 む	読まない
雑 誌	502	506
漫 画	518	489
新 聞	531	498
フィクション	531	486

点数にこんなに差が出ていることに驚きです。

さて、この表から言えることは何でしょう。ご家庭において、お子さんと一緒に、どんなことが言えるのか、どういうことが大切なのか、日々の生活でできることは何なのかなど、話し合ってみてはいかがでしょうか。

世界79ヶ国・15歳対象のPISA調査結果より

安積第三小学校では、朝の時間に、全校で「読書タイム」という時間をとっています。全校生がシーンと静かに読書をする時間です。読書に親しむ子どもたちになってほしいと思います。



校長のひとりごと

社会人として新たな一歩を踏み出す若者には、当然、様々な研修の機会があります。いくつかの企業の研修内容を見てみると、必ず入っているのが「挨拶などの基本的マナーの徹底」なんだそうです。

挨拶は、人と人をつなぐ重要なアイテムです。さわやかな挨拶＝その後の人間関係の構築といっても過言ではありません。この社会人としての基本的マナーは、社会人になってから身に付けばいいのでしょうか。私は、小学校の今、身に付けてほしいと考えています。「おはようございます」「こんにちは」「いってきます」「ただいま」「いただきます」「ごちそうさまでした」そして心から感謝の気持ちを込めた「ありがとう」心から反省して「ごめんなさい」。安積第三小学校の子どもたちが、10年後、15年後、社会人となった時、研修を受けなくても、さわやかな挨拶を、笑顔でできる人になってほしい・・・そう願っています。だから『今』が大切なんですね。さわやかな挨拶が飛び交う学校・・・素敵ですね。ご家庭で交わす挨拶も大切にしてください。よろしくお願いいたします。

